



伊藤 文博 議員  
心豊かな人を育む  
まちづくり

心豊かな人を育む  
まちづくり

質問

「日本一の子どもを育てる」とは「日本一の子育て環境づくり」であると考えますが、学校・家庭・地域が一体となつ

た子育て環境、教育環境の整備の取り組み状況はどうか。  
また、豊かな心を育むことや学力向上を図るため、教職員の人材確保や資質向上とともに、教員の加配等で「一人の子どもを複数で育てるしくみ」を構築する必要はないか。

教育長答弁

学校・家庭・地域が一体となった教育環境の整備については、実践化に向けた各組織の具体的な取り組みを促すことと、園・学校での学習指導モデルカリキュラム及び副読本の作成の2点を重点的に取り組んでいる。

教職員の人材確保や資質向上については、若手教職員への指導や県外研修補助制度などを実施している。また、学習環境の整備のため、教育補助員の増員や学校支援地域本部事業の拡大などを進めている。

質問

新幹線開業に向けた  
まちづくり

ジオパーク戦略には、外からの目線による分かりやすい「核」を設定し、「見せ方」、「楽しませ方」を意識した実行プランが必要と考えるが、人材の育成、プラン推進のためのシステムの構築をどう図るか。

市長答弁

ジオパークについては、全庁的な取り組みとして全職員

市長答弁

今冬の除雪の課題としては、地区によっては担当業者の除雪が間に合わないなど事例もあつたことから、地域全体で業者間の連携体制を整える必要があると考えている。

豪雪・津波・原子力の  
各災害に対する防災について

質問

今冬の豪雪における除雪の課題について、また、雪崩や地滑りなど融雪時期に発生しやすい災害への防災について

伺う。

津波防災について、津波発生時の通報体制、避難場所、避難訓練等について伺う。

原子力防災について、このほど当市を含む28市町村が東京電力柏崎刈羽原発と通報連絡協定を結んだが、通報連絡協定の連絡システムと庁内の

対応について伺う。

融雪時期の災害対策については、市内に多くの雪崩危険箇所や地滑り防止区域があることから、人命に影響する恐れのある箇所を中心にパトロールを強化し、危険が察知された場合に、すみやかに関係機関に連絡するとともに、防災

行政無線や安心メールなどで市民にも注意を呼びかけていく。

津波防災については、津波警報発令時にはJアラートによる防災行政無線等の一斉放送などで緊急情報を発信していく。避難場所については、各地区ごとに検討されており、津波避難ビルの指定や津波避難路の検討なども併せ、相談させていただいている。避難訓練については、これまでも海岸沿いの地域で自主的に実施されているが、来年度は市の海岸線全域を対象にした津波避難訓練の準備を進めているところ

意識向上と人材育成を図るとともに、出前講座、ガイド養成、検定などの実施により、市民にも広く人材育成に努めていく。また、プランの推進・進管理については、ジオパーク戦略プロジェクトで対応していく考えである。

《その他質問項目》

・ 安全安心、元気なまちづくりについて

ある。

柏崎刈羽原発との通報連絡協定については、事故や故障の際に、国や報道機関への情報を協定自治体にも提供するもので、市として、重要度・緊急度に応じて、直ちに必要な対策を取ることとしている。

《その他質問項目》

・ 北陸新幹線と並行在来線について